

取扱説明書(マツダ編)

G-scvu

Ĵ	を使用になる前に	2
	はじめに	3
	安全にご利用になるために	4
診	断機能	6
	自己診断機能	7
	作業サポート機能	14

ご使用になる前に

はじめに	3
安全にご利用になるために	4

C-SCAN ご使用になる前に

はじめに

本取扱説明書では、マツダ車の診断機能に関してご説明させていただきます。 ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。 本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

G-scn 安全にご利用になるために

ご使用になる前に

- ■本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- ■本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産 への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記 号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。





本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。 以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、 被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



▲ 注意

● マツダ車または、マツダ製造のOEM車以外に使用しないでください。

気を取られて事故につながる恐れがあります。



自己診断機能	7
作業サポート機能	14



1)診断メニューにおいて『自己診断』選択して、 「モルモー」 ボタンを押してください。

🛑 診断メニュ	- > PCM	← 0
-	● 自己診断	•
•	● データ表示	Þ
	 保存 データ表示 	Þ
	● 識別情報表示)

〈図:診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図:自己診断画面〉

 故障コード:マツダ独自の故障コードNo.又はSAEコード(例:P0135)が表示されます。
 故障系統名が表示されます。
 故障内容の詳細に関しては、マツダのサービスマニュアルをご参照ください。
 「未確」:2トリップ連続検出法(誤診断防止のため、IG SWのOFF/ONをはさんだ 2回の連続する走行で2回とも同じ故障が検出されないと故障と判断しない。)を使用した故障コードで、1回目の検出を意味します。
 消去
 自己診断記憶を消去します。
 フリーズフレームデータを表示します。

※注意と補足※

- フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(エンジンコンピュータ)
 によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードの種類には関係なく決まった種類(主にエミッション関係)のデータが記憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記 憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コードを消去する時に同時に消去されます。
- ・ フリーズフレームデータの表示はPCMのみ対応です。

▶ PCM >	>自己診断		+	D
P0768	97F767F	D信号系統(断線/短絡)		
P0773	ニュートラルシ			
P0745	ライン圧ソレ	▶ メッセーン 		
P1632	オルタネータ月	故障コートを消去します。 📃 📃	未確	
		注意		
		フリーズフレームデータがある場合、		
		故障コードを消去すると		
		フリースフレームナーダも 日時に消失されます		
		[
		モード 消去 フリーズフレーム	説明	

〈図:故障コードの消去〉

▶ PCM > 自己診断		+	۵
	N 1.4 1.5 1.5 1.		
	× xyu-y		
	消去しました。		
	モード 【 消去 】フリーズフレーム 】 🛛 📗	知明	

〈図:故障コードの消去完了〉

パルス読み取りの場合

1)診断メニューにおいて『自己診断』を選択して、「モハエモー」ボタンを押してください。

●診断メニュー > エアコン	+ 0
*	•
•	
*	

〈図:パルス読み取り 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 以下のメッセージが表示されます。

IG SWをOFFICし、再度IG SWをONにしてください。IG SWをON後 ○K ボタンをタッチしてください。

━️診断メニュー > エアコ)	$m{y}$, the product of the contract point of the model of $m{z}$	+ D
👘 🖉 🥌 🗎	▶ メッセージ	•
	IG SWを一度OFFL、再度ONして下さい。	
•		
	[:	

〈図:IG SWのOFF→ON〉

3) 確認メッセージが表示されますので ● 0k を押して進んでください。

● 診断を開始します。 自己診断を開始します。 自動読み取りが出来ない場合、 ウォーニングランフ®の点滅回数から 故障コートを読み取り、 故障コートで表を参照してください。 また、エアハッグの場合はダイアグジッスコネクタの TAB(1)とGND(2)端子間を短絡して 点滅回数を読み取ってください。	
Ok	

- 〈図:自己診断確認メッセージ〉
- 4) 自己診断結果が表示されます。



〈図:パルス読み取り 自己診断結果画面〉

 故障コード:
 マツダ独自の故障コードが表示されます。

 故障系統名:
 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、マツダのサービスマニュアルをご参照ください

 パルス表示部:
 ウォーニングランプの点滅状態がパルスで表示されます。

 コード表
 コード表を表示します。

 消去方法
 自己診断記憶を消去します。

 読取方法:
 故障コードの読取方法を表示します。

5) <u>消去方法</u> ボタンをタッチ、又は <u>「3</u> ボタンを押すと故障コードの消去方法 が表示されます。表示された消去方法に従って、故障コードを消去してください。

	・Tアウノ ム戸診断	4 3
	▶ 消去方法	
F	2 2 1 1 1:TAC 2:GND TAC-GND短絡 ↓ A/Cスイッチを押す(過去故障モートではする) ↓ AUTOスイッチ又はリヤテウロスタスイッチと内外気、 循環スイッチを同時に押す	
	Ok	
		n.~n

〈図:パルス読み取り 消去方法の表示〉



① **」** ボタンをタッチ、又は *「*?」 ボタンを押すと、現在選択しているシ ステムの故障コード表が表示されます。



〈図:コード表の表示〉

読取方法 ボタンの詳細

① 「読取方法」ボタンをタッチ、又は「44」ボタンを押すと、ウォーニングランプに よる故障コードの読み取り方法が表示されます。



<図:読取方法の説明>



作業サポート機能

診断機能

▲ 警告

- 作業サポートはマツダのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容 を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行し てください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。 車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 - 1. 車両停止状態。(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)
 - 2. ブレーキペダルを踏込む。
 - 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目については、製品サイト:G-scan.jpを参照してください。

https://g-scan.jp/g-scan/system-mazda.html

≪ PCM 作業サポート「インジェクタ登録」≫



1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して [*****] ボタンを押してくださ

い。

┣️診断メニュ	> PCM	+ 0
•	● 自己診断	Þ
•	● データ表示	►
	● 保存 データ表示	•
*	━ 作業サポート	•
•		

〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。インジェクタ登録を選択して

━i診断メニ:	1 > PCM	+ 0
•	■ DPF7°レッシャセンサ データリセット	•
	DPF データリセット	Þ
	■ ETB/EGR データリセット	Þ
*		Þ
•	━ インジェクタ登録	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 3) インジェクタ登録に必要な車両の状態が表示されます。車両の状態をIG OFFに
 - してよろしければ _____ ボタンを押してください。

▶ PCM > インジェ物登録	+ 0
IG OFFICILTION法理して下ない	
Ok ++>tu	

〈図:インジェクタ登録 車両状態確認画面〉

4) インジェクタ登録に必要な車両の状態が表示されます。車両の状態を確認して よろしければ ______ ボタンを押してください。

 PCM > インジェクタ登録 		+ O
IG ONICLETION 1を押して下さい。		
19 01//2000/07/20100100/0		
Ok + +>>セル		

〈図:インジェクタ登録 車両状態確認画面〉

- 5) インジェクタ登録に関する注意事項が表示されます。注意事項を確認してよろし
 - ければ _____ ボタンを押してください。

▶ PCM > インジェクタ登録	+ O
インジェクタ登録を実施します。	
次の画面では、PCMに記憶されているインジェクタコートを表示します。 新しいインジェクタコートに対応する4個のインジェクタコートを入力して下さい。	
[注意] 新しい値を入力しない場合、PCMに記憶されているインジェクタコードは変更されません。	
続ける場合は、[OK]を押して下さい。	
Ok	

〈図:インジェクタ登録 注意画面〉

6)現在登録されているインジェクタIDが表示されます。修正するインジェクタIDにインジェクタコードを入力してください。入力完了後、よろしければ こ ページー ボタンを押してください。

▶ PCM > インジェクタ登録			+ 0
	KEYBO	ARD	
インジェクタ No.1 A09D0E0D0D1D1100000000000003F	Ο	1	2
インジェクタ No.2 A00000F2F3DFEC000000000000092	3	4	5
129 ±9% No.3 A00000E8F4D0DA000000000000086	6	7	8
(結ける場合は「OK)を押して下さい。	9	А	в
	с	D	E
Ok キャンセル			

〈図:インジェクタ登録 ID入力確認画面〉

マツダのインジェクタコードについては、以下のように表示されています。
 黄色の枠内の30桁がインジェクタコードになります。インジェクタコードを入力する場合、
 矢印(→)の順番で入力してください。

<車両:ボンゴバン 車両型式:SK系 エンジン型式:RF-CDT 年式:平成21年3月の例>



〈図:インジェクタコードの説明〉

7) 車両の状態を変更する指示が表示されます。車両をIG OFFにして、 Common



ボタンを押してください。

〈図:インジェクタ登録 車両状態確認画面〉

8) インジェクタコードを登録しています。しばらくお待ちください。



〈図:インジェクタ登録 インジェクタコード登録中画面〉

9) インジェクタコードを登録が完了すると、以下のように表示されます。 ______ ボタンを押して終了してください。

 PCM > インジェクタ登録 		+ O
「実行完了」ました。		
IG UNICOC POUS		
OK キャンセル		

〈図:インジェクタ登録 インジェクタコードを登録完了画面〉

≪ PCM 作業サポート「DPF再生」≫



1)診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して [*****] ボタンを押してくださ

い。

● 診断メニュ	1> PCM	+ 0
•	● 自己診断	Þ
	● データ表示	•
	● 保存 データ表示	•
*	━ 作業サポート	•
•		

〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。DPF再生を選択して (*****) ボタ ンを押してください。

━️診断メニ:	ı∽ > PCM	+ 0
•	■ DPFリセット	•
	■ DPF点検)
	■ DPF再生	•
*	■ PCM データリセット	Þ
•	━ エンシ`ンオイル デ`ータリセット	

〈図:作業サポート項目選択画面〉

- 3) DPF再生を選択した場合、以下の注意事項が画面に表示されます。注意事項を
 - 確認して、よろしければ _____ ボタンを押してください。

▶ PCM > DPF再生	+ 0
DPF再生を行います。	^
[注意事項] DPF再生中は、高温の排出かスが排出されるため、近くに人や可燃物がある場合、 火傷や火災など重大な損傷、損害につながる恐れがあります。 DPF再生を実施する場合は、必ず周りに人や可燃物がない場所で行って下さい。 排気かえを多量に吸い続けた場合、一酸化炭素中毒になる恐れがあるため、 DPF再生を実施する場合は、必ず風通しの良い広い場所で行って下さい。	
標高1000m以上または吸入空気温が0℃以下の場合、DPF再生が実施できません。	
すべての電気負荷システム(A/C、ライトなど)をOFFにして下さい。	~
OK [++>tell] []	

〈図:DPF再生 注意事項確認画面〉

- 4) DPF再生を実行するための車両状態が表示されます。車両状態を確認して、よ
 - ろしければ _____ ボタンを押してください。

▶ PCM > DPF再生	+ 0
以下の車両状態にして下さい。	
[車両状態] PまたはNレンジ位置 エンジン始動中	
車両条件を満たしている場合、[OK]を押して下さい。	
OK ++>>tu	

〈図:DPF再生 車両状態確認画面〉

- 5) DPF再生を実行するための条件が満たされているか確認する画面が表示され
 - ます。条件を確認して、よろしければ _____ ボタンを押してください。

▶ PCM > DPF再生		+ 🗅
下記の条件を満たしている場合、実行できます。 [条件] エンシン冷却水温 70℃以上 条件を満たしている場合、[OK]を押して下さい。		< [>
項目名	現在値	単位
エンシン冷却水温	85	'C
	·	
Ok toyou		

〈図:DPF再生 条件確認画面〉

- 6) DPF再生が開始されると、下記の画面が表示されます。 DPF再生が完了するま
 - で、しばらくお待ちください。

►	PCM > DPF再生	+ 0
	あと 80:00 お待ち下さい。 現在、実行中です。 この作業に最大80分間かかる場合があります。 中止をする場合、アクセルへないを踏んで下さい。	<
Ī		

〈図:DPF再生 DPF再生画面〉

※注意と補足※

 通常、DPF再生には約20分程度かかります。車両の状態によっては、最大80分間かかる 場合があります。

- 7) DPF再生が完了すると、下記の画面が表示されます。画面の指示に従い、車両
 - をIG OFFにしてください。よろしければ C マ ボタンをタッチしてください。

▶ PCM > DPF再生	+ 0
IG OFFにして[OK]を押して下さい。	

〈図:DPF再生 DPF再生後画面〉

- 8) DPF再生が完了したメッセージが表示されます。 ____ ボタンを押して終了
 - してください。

▶ PCM > DPF再生	+ 0
「実行完了」ました。	

〈図:DPF再生 DPF再生完了画面〉



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号 Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022 https://www.inter-support.co.jp

https://g-scan.jp

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル[※])

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 → ① (ナビダイヤル[※])

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2021年6月発行 第16版 本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。 本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-7-16